

英語コミュニケーション科

■ 英語コミュニケーション科でつきたい力

① 既習の語彙や表現を駆使して、**自分の意見や考えを表現する力**

② 自分の意見や考えを**効果的に伝える力**

③ **目的・場面・状況**に応じ、適切に**対応する力**

■ 英語コミュニケーション科で扱う主な活動

① **即興的な対話** ② **プレゼンテーション** ③ **課題解決型活動**
④ **技能統合型活動**

■ 英語コミュニケーション科 授業の特徴

1. パターン化 - **全授業を同じパターンで行う**
授業をパターン化することで生徒たちが見通しを持ちやすくなるため、英語で授業が行いやすくなる。

2. 目標の提示 - **目標を生徒と共有**
導入で、ALT によるデモンストレーションを見せ、生徒たちにめざす姿を認識させる。そこから、その時間の目標とその目標を達成するために意識すべきポイントを提示し、生徒と共有する。

3. 自分の気持ちや意見を伝えるアウトプット活動
英語コミュニケーション科におけるアウトプット活動は、単語入れ替えなどのパターンプラクティスだけではなく、自分の気持ちや意見を伝えるアウトプット活動を行う。また、4 技能をバランスよく育成する授業を意識する。

4. 目標が達成できたかの振り返り
振り返りは、生徒が目標を達成できたのかという視点だけではなく、教員も指導は適切であったかを振り返り、授業改善に有効である。『目標→振り返り→(次回) 目標調整→振り返り』のサイクルで生徒たちのやる気を引き出し、自己調整能力を育成することができ、教える側も、より良い授業を作っていくことができる。授業の最後には、次につながるような提案や生徒の世界を広げるような提案をすると、授業での学びが継続する。

■ 授業の流れ

Warm-Up (10分)

授業開始からの10分で、聞くこと、話すこと、語彙力、読解力などのスキルを伸ばすための活動を行う。

導入

外国語科教員とALTによるデモンストレーションを行い、めざす姿を示す。

目標の提示

外国語科教員は目標とその目標を達成するために気をつけるべきポイントを示す。

活動

Input→Intake→Outputの流れで、目標を達成するための手立てとなる活動を行う。

振り返り

目標が達成できたかを振り返かえらせ、次につながる提案を行う。